

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	循環型社会形成推進交付金		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～(未定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の4		関係する計画、通知等	廃棄物処理施設整備計画 (平成25年5月31日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地における廃棄物処理施設の速やかな整備により、処理能力等の強化を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災地の早期復旧及び復興を支援するため、被災地の市町村等が行う一般廃棄物処理施設を緊急に整備し、処理能力等の強化を図るものである。 (交付率 1/3もしくは1/2)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	18,614	8,262	10,231	15,789		
		補正予算	24,547	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	138	248	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 8,277	▲ 138	▲ 248	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		16,270	18,476	8,152	10,479	15,789		
	執行額		4,283	15,120	7,262	-	-		
執行率(%)		26.3%	81.8%	89.1%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)	
	被災地における廃棄物処理施設の速やかな整備により、処理能力等の強化を図る。			成果実績	箇所	-	67	34	-
				目標値	箇所	-	69	34	32
				達成度	%	-	97	100	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	実施箇所数			活動実績	箇所	-	67	34	-
				当初見込み	箇所	-	69	34	32
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	執行額(百万円) / 実施箇所数(団体)			単位当たりコスト	百万円/箇所	-	226	214	-
				計算式		-	15,120/67	7,262/34	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由					
	循環型社会形成推進交付金	10,231	15,789	市町村等が平成27年度に行う廃棄物処理施設整備事業について、交付金において十分な支援を行うため。					
計	10,231	15,789							

## 事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	被災地における廃棄物処理施設の整備は、優先度が高く、国として重点的に実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業目的に沿って予算執行しており、その執行状況等について適切に把握・確認を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	成果実績及び活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名	
点検・改善結果	点検結果	本交付金は、市町村等の要望を確認しながら、事業内容や事業費の精査を行った上で、効率的な予算配分を行っていく。			
	改善の方向性	優先度が高く、国として重点的に実施すべき事業を絞り込んでいく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	交付先の選定に当たっては、災害廃棄物の処理状況を踏まえつつ、案件の採択について精査を行うことが適当である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	平成27年度予算要求においては、災害廃棄物の処理状況も踏まえ、採択案件について精査を行うこととする。				
備考					
・「予算額・執行額」の平成23年度部分については、環境省が計上した同様の事業(環境省平成24年行政事業レビューシートNo144)の予算額等を参考記載しているもの。 ・同事業における平成24年度以降への繰越し額 平成24年度 8,277百万円					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	-	平成24年	131	平成25年	187

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

予算要求:復興庁  
8,152百万円



予算執行:環境省  
7,262百万円

地域計画の承認  
交付金の交付決定



A.事業主体  
(市町村及び一部事務組合等)34件  
7,262百万円

地域計画に基づく廃棄物処理施設整備  
事業等の施行

資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

A.高岡地区広域圏事務組合			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	高効率ごみ発電施設	2,144			
計		2,144	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	高岡地区広域圏事務組合	高効率ごみ発電施設	2,144	—	—
2	芳賀地区広域事務組合	高効率ごみ発電施設,マテリアルリサイクル推進施設	1,774	—	—
3	北九州市	マテリアルリサイクル推進施設、基幹的設備改良事業、浄化槽設置整備事業	838	—	—
4	十日町市	基幹的設備改良事業、浄化槽設置整備事業	500	—	—
5	亶理名取共立衛生処理組合	エネルギー回収推進施設、マテリアルリサイクル推進施設	453	—	—
6	山武郡市環境衛生組合	基幹的設備改良事業	358	—	—
7	大崎地域広域行政事務組合	最終処分場、基幹的設備改良事業	310	—	—
8	岩手中部広域行政組合	高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル推進施設	249	—	—
9	久喜宮代衛生組合	基幹的設備改良事業	165	—	—
10	龍ヶ崎地方衛生組合	基幹的設備改良事業	100	—	—